

4. 説明資料 (1) データの活用

全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた 学習指導の改善・充実に向けた説明会

データの活用

文部科学省 国立教育政策研究所
初等中等教育研究部・教育データサイエンスセンター
総括研究官
しろうず
白水 始

1

①クロス集計とは？

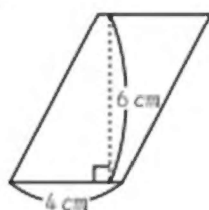
- ある問題に正答/誤答した児童生徒が必ず他の問題にも正答/誤答するとは限らない。

⇒そのズレから、理解やつまづきの実態がわかる場合がある。

例えば同じ年度に次の2題が出たとして(架空の例です)

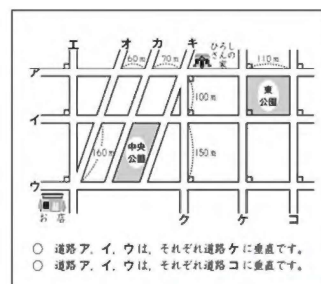
(1) 次の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。

(1) 平行四辺形



正答率90%
(架空の数値)

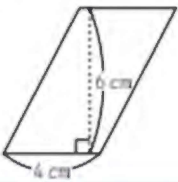
(2) ひろしさんの家の近くに東公園があります。東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きましょう。



正答率20%
(架空の数値)

①クロス集計とは？

- ・複数項目の結果を掛け合わせて集計すること

		(2)				
(1)			正答	誤答	無答	合計
	<p>次の図形の面積を求めると答えを書きましょう。</p> <p>(1) 平行四辺形</p> 		20%	50%	20%	90%
			0%	0%	10%	10%
			0%	0%	0%	0%
	合計		20%	50%	30%	100%

14

②正答数別類型割合とは？

- ・クロス集計等をしてみると、さらにどんな「層」の児童生徒が正答/誤答しているかを知りたくなる場合がある。
- ・正答数別類型割合：
 - ・全問題の正答数を仮に「学力」と見たときの、その「学力層」ごとの各問題の正答率を見る。
 - ・正誤だけでなく、解答類型も一度に表示したものが「正答数別類型割合グラフ」である。
 - ・留意点：「各正答数」に属する児童生徒は均等ではないことに留意。

15

②正答数別類型割合とは？

仮に全部で5問の算数調査を10名の児童が受けたとして

	児童A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	正答率
問題 (1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	9/10
(2)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2/10
(3)	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	4/10
(4)	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	5/10
(5)	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	6/10
合計	5	4	3	3	3	3	2	2	1	0	26/50

どの問題が難しかった・易しかったかだけでなく

5問中何問合っていた児童はどの問題に正答/誤答するのかという観点でも調査結果を見ることができる

16

②正答数別類型割合とは？

仮に全部で5問の算数調査を10名の児童が受けたとして

	児童A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	正答率
問題 (1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	9/10
(2)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2/10
(3)	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	4/10
(4)	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	5/10
(5)	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	6/10
合計	5	4	3	3	3	3	2	2	1	0	26/50

どの問題が難しかった・易しかったかだけでなく

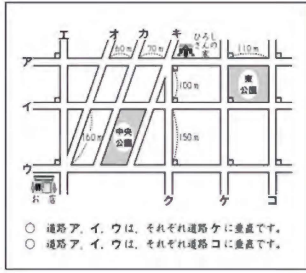
5問中何問合っていた児童はどの問題に正答/誤答するのかという観点でも調査結果を見ることができる

⇒(2)の問題は全体正答数3以下の児童には難しいといったことが見えてくる。

16

②正答数別類型割合グラフとは？

13) ひろしさんの家の近くに東公園があります。
東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。
答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きま
しょう。



解答類型を細かく
見たとして(グラフ
は架空の例)

割合(各類型をその正答数の児童生徒
数で割ったパーセント)

3 (4) 正答数別類型割合グラフ

